

◎第10回理事会(39.3.25)出席者:山本会長,岡本副会長,羽田専務理事,江口,大石,田中,前沢,三野の各理事。議事録署名理事:羽田専務理事,田中理事。

A. 協議事項:1)昭和39年度事業計画および予算の一部修正の上可決。2)定款の一部改正について。3)規則の一部改正を修正の上可決。4)シンポジウム共同主催について。5)第1回土質化学に関する講演会の協賛について;講演者の推薦は嶋理事に一任する。6)河北潟干拓建設事業所放水路河口工事に関する委託研究について。7)故藤井真透氏基金寄付について;藤井氏のご遺族より学会基金として寄付したい旨申入れがあったと羽田専務理事から説明,評議員会に手続することです。8)その他;①理事の定数と選挙について;羽田専務理事から,評議員下打合せの際における基本方針について諒解を求め,了承,②学術講演連絡委員会委員追加について;羽田専務理事から同委員会委員長の申入れで関西支部と次回およびその次の年次学術講演会施行担当の東北および西部支部より各1名の委員を追加増員し,支部長に推薦依頼した旨説明,了承,③関東支部設立準備経過について;羽田専務理事から4月30日に設立大会を挙げる目標で進んでいる旨報告。9)科学技術庁の委託試験研究申請の件。10)西部支部長の委嘱の件。

新支部長 宇野周三(九州電力KKK土木部長)  
旧支部長 伊藤道夫(建設省九州地方建設局長)

B. 報告事項:1)会計報告。2)刊行物の申込み状況。3)会員入退会。4)その他。

#### ◎各種委員会

(1) 大学土木教育委員会幹事会(39.1.21)出席者:嶋幹事長,ほか8名。議事:1)大学関係に関する調査結果の検討。2)建設会社に関する調査結果の検討。3)一般会社関係有識者の意見聴取。4)土木技術者の各部門における活動状況を最終的に把握するためのサンプリング調査に関する検討。5)その他。

(2) 土木図書館運営委員会設立打合せ(39.1.22)出席者:米元委員長,ほか2名。議事:1)図書購入費の内訳の作製。2)委員会構成メンバーの作製。

(3) 写真集編集委員会主査幹事会(39.1.22)出席者:片山委員長,ほか3

名。議事:1)写真集年表部門の編集基準を定める。2)1)の工程を決める。

(4) 出版企画委員会幹事会(39.1.22)出席者:荒井委員長,嶋幹事長,ほか3名。議事:1)前回委員会報告。2)創立50周年記念出版物進行予定および予算表について。3)39年度出版物予定について。4)工事誌類の出版について。5)土木工学論文抄録の取扱いについて。6)委員長会議の開催の件。7)学会誌講座の単独出版の件。8)新規出版物の企画の件。

(5) 50周年記念事業委員会(39.1.22)出席者:山本会長,ほか46名。議事:50周年記念事業について;①一般報告,②図書館建設委員会報告,③行事委員会報告,④記念出版委員会報告,⑤総務委員会報告。

(6) 50周年記念出版土木技術発展のあゆみ交通部(39.1.23)出席者:関係委員4名。議事:1)部内執筆項目につき担当者の決定。2)部内執筆項目別ページ割。3)執筆方法,執筆委員について。

(7) 支部幹事長会議(39.1.23)出席者:各支部幹事長6名,羽田専務理事。議事:1)50周年記念事業巡回映画会および支部行事について。2)50周年記念事業募金の協力方について。3)会員の増加対策について。4)38年度支部交付金について。5)支部規定について。

(8) 土木賞主査幹事会(39.1.23)出席者:国分・左合両主査,ほか3名。議事:土木賞推せん書および論文,資料の整理。

(9) 50周年記念出版土木技術発展のあゆみ編集委員会(39.2.27)出席者:沼田委員長,ほか30名。議事:1)各部門より提出された執筆細目および資料目次の作成についての考え方を話し合い,ついで他部門との調整等を行なった。2)原稿料について。3)各部門のページ割について。4)作業予定表の変更について。5)その他。

(10) 会誌編集委員会(39.2.28)出席者:八十島委員長,ほか16名。議事:1)原稿投稿状況報告。2)依頼原稿状況報告。3)第49巻第4号報告。4)電子計算機実用講座報告。5)モニター報告。6)次期講座の件。7)投稿規定改訂の件。8)その他。

(11) 土木図書館運営委員会幹事会(39.2.28)出席者:米元委員長,千秋幹事長,ほか10名。議事:土木図書館建設にともなう購入雑誌の選定について。

(12) 橋梁構造委員会(39.2.28)出席者:福田委員長,ほか7名。議事:1)Lehigh大学よりASCEの関係調査につ

いて。2)第7回IABSE会議について。2)今後の運営方針について。3)その他。

(13) 本州四国基礎に関する専門部会第3回設計調査幹事会(39.2.28)出席者:関係者13名。議事省略。

(14) 出版・編集・学術講演委員長会(39.2.29)出席者:関係委員会委員長5名,ほか4名。議事:1)各委員会活動の現況報告。2)各委員会当面の問題と関係各委員間の調整の方式を検討。3)その他。

(15) 土木賞主査幹事会(39.3.3)出席者:国分・左合両主査,ほか4名。議事:1)審査員辞退に伴う変更について。2)審査報告の開封整理。3)予選に付すべき候補論文のせん考方法について。

(16) トンネル工学委員会主査幹事会(39.3.3)出席者:加納幹事長,ほか10名。議事:1)トンネル標準示方書解説(案)日程について。2)昭和39年度夏期講習会について。3)その他。

(17) 大学土木教育委員会第8回幹事会(39.3.4)出席者:米屋委員長,嶋幹事長,ほか4名。議事:昭和38年度大学土木教育委員会中間報告案の審議;①大学土木教育委員会の活動経過と今後の方向について検討,②今まで集め得た各資料を各幹事が分担して整理し,4月上旬までに学会へ集めA4版タイプ印刷し,次回委員会で中間報告をする。

(18) 50周年記念出版写真集写真部門主査幹事会(39.3.4)出席者:片山委員長,ほか8名。議事:1)写真手配の現況報告,再手配考察。2)写真ページ割り決定(件数比例)。3)その他。

(19) 岩盤力学委員会第3分科会見学会(39.3.5)出席者:関係者8名。議事:神奈川県企業庁相模川総合開発建設事務所における城山ダムの見学を行なった。

(20) 会誌編集小委員会(39.3.6)出席者:八十島委員長,ほか4名。議事:1)前回からの継続事項の報告。2)第49巻第5号の内容決定について。3)依頼原稿手配について。4)学会誌投稿規定改正について。5)委員交代について。6)その他。

(21) 文献調査委員会(39.3.6)出席者:千秋委員長,ほか12名。議事:1)第49巻第5号登載抄録について。2)解説記事について。3)会誌,論文集総索引について。4)編集関係委員長会議について。5)洋書新刊紹介欄について。6)その他。

(22) 耐震構造設計研究委員会第10回幹事会(37.3.6)出席者:関係者8名。議事:1)土木構造物の耐震設計指針(案)について。2)その他。

## 支部だより

### ◎北海道支部

(1) 第7回幹事会(38.12.26, 札幌市民会館) 出席者: 林幹事長, ほか7名。議事: 1) 第3回講演会開催について。2) 年次講習会の講師について。3) 研究発表会開催準備について。4) 吉田賞について。5) 技術資料発刊について。

(2) 第2回技術資料編集委員会(38.12.27, 札幌ホテル地下) 出席者: 板倉委員長, ほか5名。議事: 1) 技術資料第20号の編集, 校正分担について。2) 編集方針, 原稿補正要領について。

(3) 第1回支部内評議員会(39.1.7, ふじや地下) 出席者: 評議員6名。議事: 1) 理事の定数について。2) 出席代表評議員について。3) 学会50周年記念事業について。

(4) 第3回技術資料編集委員会(39.1.10, 札幌ホテル地下) 出席者: 板倉委員長, ほか7名。議事: 1) 原稿の整理について。2) 印刷所連絡について。3) 校正方法および分担について。4) 編集発表の順序について。

(5) 第2回支部内評議員会(39.1.17, ふじや地下) 出席者: 評議員4名。議事: 1) 評議員会出席議事経過について。2) 理事の定数について。3) 次回本部評議員会出席の場合の見解統一について。4) その他。

(6) 第3回講演会(39.1.31, 札幌市民会館) 上戸支部長の開会挨拶 についてつぎの講演が行なわれた。聴講者200名以上にして近來にない盛況かつ好評であった。

演題と講師:

1) 英国の印象について

石狩川治水事務所長 森田養育  
2) 名神高速道路について

北海道建設業信用保証KK取締役  
高橋敏五郎

(7) 第8回幹事会(39.2.11, 札幌市民会館) 出席者: 林幹事長, ほか8名。議事: 1) 研究発表会の係幹事分担について。2) 講習会係幹事の分担について。3) 技術資料の頒布について。4) PC講演会開催の共催について。5) 第5回講演会と映画の会開催について。6) 技術資料第20号編集委員の報酬について。7) 林幹事長より支部事業実施経過の報告。

(8) 支部年次研究発表会(39.2.18, 札幌市民会館) 上戸支部長の開会挨拶について, 研究論文文下記23編の発表が行なわれた。この発表論文は技術資料

40号として支部刊行(39年2月15日) 会員ならびに希望者に広く頒布(非会員は400円)する。なお, 当日は150名余の聴講者を数え盛会であった。

発表題目と発表者

- 1) 本川水位の影響により 氾濫貯溜する支川の流出解析について  
北海道コンサルタントKK 麻場邦彦
- 2) 奈井江火力発電所取水口水理模型実験について  
北海道電力KK 大友 勲
- 3) Digital computer による感潮河川の流れの計算  
北大工学部 岸 力
- 4) 幾春別川幌漣湾管工事について  
開発局石狩川治水事務所 大申国弘
- 5) 十勝岳爆発に対する砂防計画  
北海道土木現業所 川名 信
- 6) ブロック形成池内でのブロックの成長  
北大工学部 丹保憲仁
- 7) 組杭の横抵抗について 開発局 竹下 淳
- 8) 組杭解法の実験的照査について  
開発局創路開発建設部 小坂久基
- 9) 特殊基礎(ベント及びリバースサーキュレーション)工法について  
国鉄札幌工務局 中 浩一
- 10) 新狩勝平い道落合口の施工について  
国鉄札幌工務局 地崎嘉三
- 11) 鋼索などによるプレストレスト構造物の緊張端附近の応力状態について  
開発局土木試験所 井藤昭夫
- 12) 格子ゲタの一解法  
北海道開発コンサルタント 青木 弘
- 13) 三径間連続曲線箱桁設計々算簡易化について  
函館ドック室蘭製作所 瀬谷拓治
- 14) 中空閉合断面を有する鋼床板変断面単純桁道路橋(1-1箱型, 1-1管型の2種類)の設計試案  
室蘭工大 須田 勲
- 15) 集中荷重を受ける単純1桁(模型)の変形と破壊現象について 室蘭工大 中村作太郎
- 16) ねじり剛性ある主桁をもつ格子桁の実験的研究  
稼農知徳
- 17) 格子桁理論による片持鋼床版の影響面に関する解析と計算  
北大工学部 渡辺 界
- 18) 雨電発電所水圧鉄管の安全度調査とその更新について  
北海道電力KK 安田 稔
- 19) コンクリートの高温高圧蒸気養生について  
室蘭工大 尾崎 毅
- 20) 南大橋応力測定について  
札幌市建設局 桜田充郎
- 21) 大江橋架設工事について  
開発局小樽開発建設部 奈良本俊彦
- 22) フィラービチューメンを結合材と考えた場合のアスファルト合材の配合設計について  
開発局土木試験所 林 亀一
- 23) 等分布荷重による半無限体内の応力分布について  
北大工学部 芳村 仁

(9) 支部年次講習会(39.2.19, 札幌市民会館) 受講者60名。

講習科目および題目

- 1) 北海道総合開発計画について  
北海道企画部次長 松沢太郎
- 2) 河川工学および水理学における最近の話題  
北大工学部教授 岸 力
- 3) 鉄筋コンクリートの新発展とPRC工法  
北大工学部教授 横道英雄

なお, 本講習会2)および3)の科目については, それぞれテキストを本印刷刊行有料頒布したが残部があるので希望者

は支部へ申込まされたい。

### (10) 支部専任事務局の開設

かねて画策中であった専任職員をおく事務局が去る1月16日付をもって新しく開設された。所在は札幌市平岸無番地開発局土木試験所内, 職員は2名(山本, 四戸)

(11) 支部事務局運営委員会(39.2.12, ふじや地下) 出席者: 伊福部委員長, ほか3名。1) 事務局職員の所遇。2) 支部交付金, その他につき協議した。

(12) 支部規定改正小委員会(39.2.25, 伊福部宅) 原案作成のため, 板倉委員長, 伊福部委員合同し, 各支部から寄せられた規定を参考にして原案を作成した。

(13) プレストレストコンクリート講演会(第4回)と映画会 北海道土木技術会と共催し 39.3.13に札幌商工会議所ホールで開催した。

講演題目と講師:

- 1) 格子桁の設計計算  
北大工学部助教授 渡辺 界
  - 2) PRC工法について  
北大工学部教授 横道英雄
  - 3) PCの疲労について  
土木試験所 西畑忠信
  - 4) 札幌市南大橋の設計施工について  
大成建設KK 只野直典
  - 5) 上湧別橋の設計施工について  
北海道PSコンクリートKK 遠峯孝榮
- 映画: 1) 山下橋 2) 首都高速道路第114工区

### ◎中部支部

(1) 第10回幹事会(29.2.18, 大津橋ビル)出席者: 渡辺幹事長, ほか18人 議事: 1) 役員の異動  
高議員

新 伊藤 太郎(名古屋市交通局高  
速度鉄道建設部長)

旧 宇佐美芳郎( 技術部長)

幹事  
旧 滝淵 清美(国鉄岐阜工務局土木課長)

新 中井 善人( )

幹事  
旧 宇佐美芳郎(名古屋市交通局高速度  
鉄道建設部工事課長)

新 高見 敬一( )

2) 幹事長会議報告。3) 巡回映画について。4) 会員の増加対策について。5) 支部規定, その他。

(2) 第4回役員会および第11回幹事会(39.3.17, 中村会館)出席者: 松見支部長, 渡辺幹事長, ほか41名。  
議事: 1) 昭和38年度事業報告の件。2) 昭和38年度決算報告の件。3) 39年度事業計画案。4) 39年度予算案。5) 39年度役員名簿案。6) その他。

### (3) 第4回見学会(39.2.28)

見学場所: 中央線線路増設トンネル工事(高蔵寺~多治見間)

参加者: 115名

(4) 支部講習会 (39.3.10, 愛知県産業貿易館)

講習題目: 土木施設の防蝕法について  
講師: 工博 中川雅夫  
技術士 福谷英二

参加者: 112 名

◎関西支部

(1) 講習会「建設工事と高分子材料」(39.3.5~6, 大阪府職員会館)

題目と講師

①建設工事と高分子材料  
京都大学工学部教授 工博 松尾新一郎

②建設工事と塩化ビニール  
積水化学工業KKパイプ事業 本部企画班長  
西村 太郎

代講 " " 企画班主任  
濑 俊

③建設工事とポリウレタン  
三井化学工業KK 中央研究所第三研究室長  
小牧 康邦

代講 " " 主席研究員  
伊藤 忠

④建設工事とポリビニールアルコール  
倉敷レイヨンKK ポパール研究開発室主任  
研究員 工博 井本 三郎

代講 " " 開発部主任部員  
岩崎博四

⑤建設工事とエポキシ  
シエル化学製品販売KK 化学品総務部長補  
佐 大石直四郎

⑥建設工事とシリコーン  
東京芝浦電気KK 中央研究所化学材料研究  
部研究員 丸山 英夫

⑦建設工事とアクリルアミド  
第一工業製薬KK化成品部第一課長  
長谷川伸一

⑧建設工事とリグニン  
山陽パルプKK研究所主任研究員

⑨建設工事とアクリルアミド 清岡 繁夫

日東化学工業KK開発部主査 鷹取 練一

⑩建設工事とアクリル酸塩類 東亜合成化学工業KK研究所長  
工博 大橋九萬雄

参加者: 190 名, 参加費: 600 円

3月5日 講師を囲んで土木と高分子の今後の問題点等について 懇談会を開催した。

(2) 関西地区評議員懇談会 (39.2.28, 土木学会関西支部事務局)

出席者: 石田支部長, 松尾幹事長, ほか 10 名。

(3) 羽田専務理事を囲む懇談会 (39.3.17, 土木学会関西支部事務局)

出席者: 羽田専務理事, 石田支部長, 松尾幹事長, ほか 9 名。

(4) 第3回商議員会 (39.3.17, 土木学会関西支部事務局)

出席者: 商議員 13 名, 評議員 9 名, 支部長, 幹事長, 幹事 10 名。

(5) 第11回幹事会 (39.3.17, 土木学会関西支部事務局)

出席者: 石田支部長, 松尾幹事長, ほか 10 名。

◎中国四国支部

(1) 第8回幹事会 (39.1.29)

場 所: 広島大学工学会館会議室

出席者: 銀山幹事長, ほか 7 名。

議 題: 1) 幹事長会議ならびに土木学会 50 周年記念事業委員会の報告。2) 38 年度支部行事ならびに予算執行状況中

間報告。3) 大学高校優秀卒業業者表彰について。4) 39 年度事務局について。5) 支部規定改正について。

(2) 第4回講演会 (39.2.7)

会 場: 高松市寿町 香川県農協会館  
ホール

題目および講師:

① グムの基礎処理について  
八千代エン지니어リング KK 高野 稔

② 四国土讃線における地すべり対策  
国鉄四国支社 河野 敏夫

③ 構造力学・構造工学における電子計算機の応用  
名古屋大学 成岡 昌夫

④ アメリカにおける最近の構造工学と橋梁について  
首都高速道路公団 中村 正平

⑤ 映 画: 大いなる黒部

参加者: 220 名

参加費: 無料

(3) 第5回講演会 (39.3.2)

場 所: 広島市基町1 合同庁舎大会議室

題目: 長径間つり橋の設計について

講師: 東京大学教授 平井 敦

参加者: 90 名。

◎西部支部

(1) 支部総会 (39.2.21)

場 所: 明治生命ビル (福岡市中島町)

議 事: 1) 昭和 38 年度事業報告。2)

38 年度収支中間報告。3) 支部規定改正案の件。4) 39 年度支部長, 幹事長の選出

(2) 研究発表会 (39.2.21)

場 所: 明治生命ビル (福岡市中島町)

講演数: 23 編

編集  
後記

風薫る5月を迎え会員の皆様もそれぞれに心気一転各方面で活躍しておられることと思います。中でも新しくこの4月に学窓を出てはじめて職場に出られた方々も大いなる希望と抱負をいだけて新しい門出に張切っておられることと思います。

本号は巻頭論説に「コンクリート構造物の軽量化」を戴きました。本号も支部特集として東北支部のご協力で東北特集を致しました。後進地域開発の問題点も種々提起され、公共投資を中心として進められる地域

開発におけるわれわれ土木技術者の使命の重大さを痛感致します。

本号から新しく実用講座として電子計算機を採上げました。電子計算機は45・46巻でもすでに掲載されましたが今回は「電子計算機の常識」として、題名からもある程度、判断されるように電子計算機の基礎理論はわからなくとも「電子計算機は、こんな方面にも使われています」「あなたも使える電子計算機」という意味でわかりやすく興味ある講座をもうろうしております。内容も次号より、工事計画、測量、交通計画、衛生工

学、構造設計、水理計算、わが国における電子計算機利用の現況と利用への手びき…と予定しておりますのでご期待下さい。

学会誌は編集委員はじめモニターなどの協力により内容の充実をはかり読みやすい学会誌となるよう努めておりますが会員の皆様のご協力によりいっそう親密なものにするため、こういうことをしてはというご意見をどしどしお寄せ下さい。特に話のひろば、ロータリー・ニュースなどの投稿をお願い致します。

【原田信昭・記】